

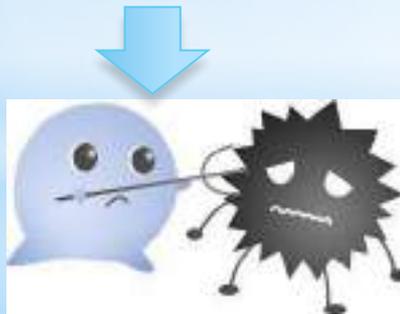
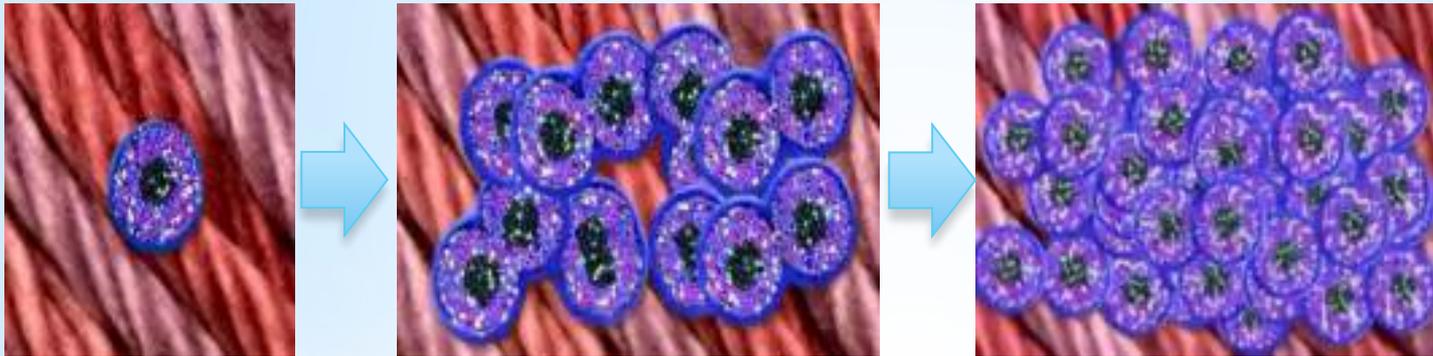
第6回

西尾市「はあと」在宅ケアチームカンファレンス

子どもたちの力で、
地域はもっとつながり合える



人間のからだには免疫というしくみがあり、がん細胞を
めんえき
やっつけます。でも退治できないと、がん細胞が増えて、
長い年月をかけてかたまりになります。



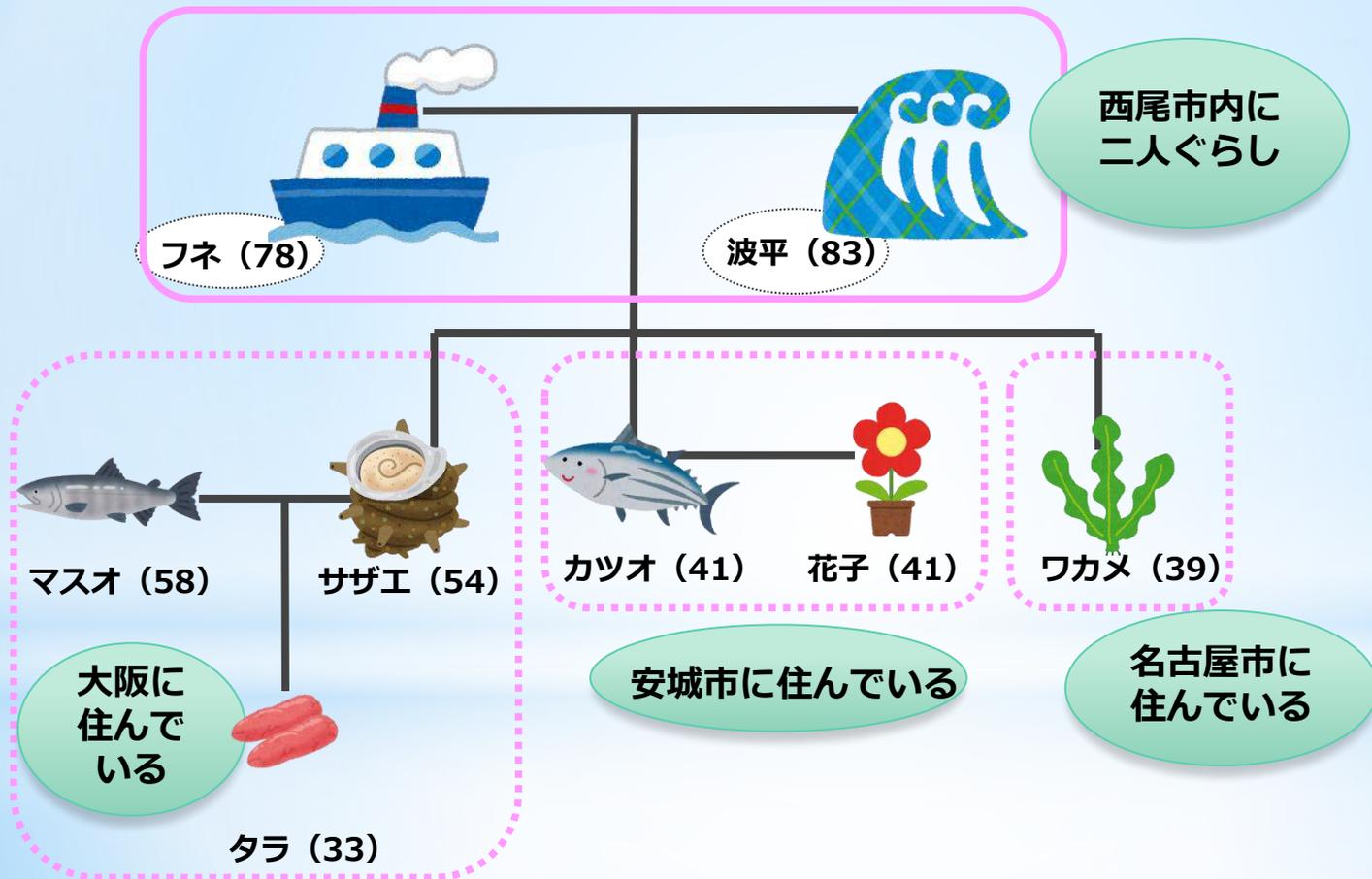
がん細胞は、人間のからだの
働きをじゃましたり、必要な
栄養分をうばったりして、
からだを弱らせてしまうのです



30年後の磯野家

2時間目

グループワーク



波平さんの状態

2時間目

グループワーク



波平83才

あっか

- 病気が悪化して言葉をうまく話せない
- 入院した時は痛みがひどかったが、薬のおかげでおだやかな表情になっている
- 寝たきりで、助けがないと生活できない。
ベッドの背もたれを上げて、
座ることはできる。
- うとうとした状態
呼びかけに対しては笑顔をみせる。



グループワーク



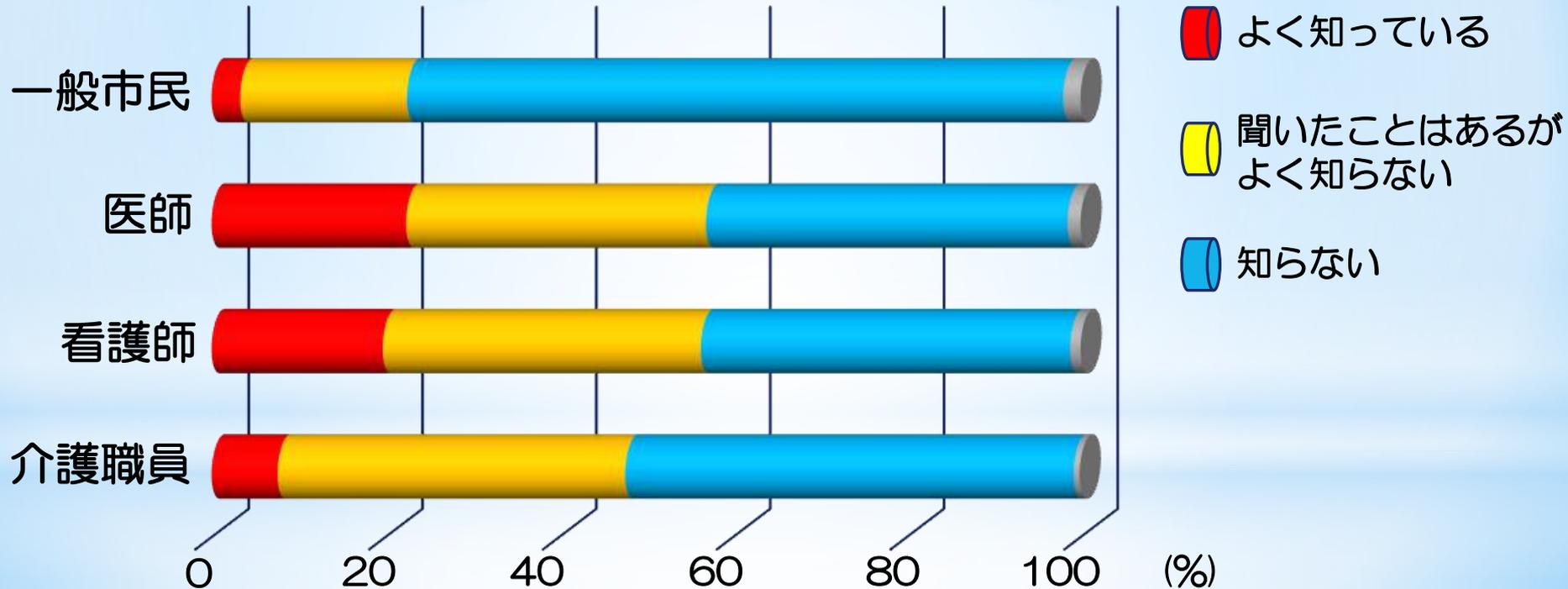
あなたが、カツオくんだったら、波平さんやフネさんにどんなことがしてあげられるかな？



ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を
聞いたことがある・知っている



医療/介護職・市民でのACP認知度



(平成29年度 人生の最終段階における医療に関する意識調査 厚生労働省)

ACPの定義

将来の意志決定能力の低下に備え、
患者や家族とケア全体の目標や
具体的な治療について話し合う過程



対話とプロセスを重視する

ここがヘンだよACP



現場では「ACPを取る」という言葉を聞くように、事前指示書への署名取りに形骸化しているとの指摘もある。今行われているACPの多くは、医師が患者・家族に質問し、「急変時に延命処置は不要です」にチェックさせるだけではないか。

(medical tribune 2019.4.25)

急性期病院でACPをすすめる上での課題



病院スタッフが退院後の生活環境を
理解することが困難



患者・家族も「縁起でもない」ことの
話題は避けたがる

そこで・・・



医療者側からでなく、地域の中から「生と死」についての対話が自然に行われるような文化を作っていくことも大切ではないでしょうか。

Matsudo Child to Community Project

Child
to
Child

検証データ

Child
to
Parents

Child
to
Community

第6回 西尾市「はあと」在宅ケアチームカンファレンス

子どもたちの力で、
地域はもっとつながり合える



お帰りの際、アンケートの提出をお願いします。
グループワークでのファシリテーターを募集しています。